

9月定例教育委員会 会議録

日 時	令和5年9月14日（木） 午前10時00分～午前10時50分
場 所	甲府市役所 9階 会議室9-2
出席委員	数野教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員
出席事務局職員	飯田教育部長・岡部教育総室長・林生涯学習室長（歴史文化財課長兼任）・中田総務課長・風間学校教育課長・石川学事課長・千野甲府商科専門学校事務長・森本生涯学習課長・臼井スポーツ課長・青木図書館長・宮崎総務係課長補佐・菱山総務係長・坂本総務係主任
傍聴人	なし
署名委員	
委員会書記	

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の氏名 原委員

・9月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

数野

末木

市川

原

1 開会

数野教育長

これより9月定例教育委員会を開会します。

原委員お願いします。

(1) 教育委員あいさつ

原委員

改めまして、おはようございます。

9月に入っても、まだ厳しい暑さが続いております。台風が秋を連れてくると言われておりますが、先週の台風は秋を伴わず、大量の雨を運んで、千葉県をはじめとした各県に甚大な被害をもたらしました。年々世界中で自然災害が深刻化しておりますが、今年の日本は各地で異常な暑さのうえに、北陸、東北、北海道など、今まで高温でなかった地域で経験がない猛暑となりました。

その北海道では、伊達市において小学校2年生の女の子が、体育の授業の後に熱中症の疑いで死亡するという大変痛ましい事故が起きました。午前10時半、気温は32度だったそうです。

全国の学校関係者の皆様、また保護者の方々が他人事ではないとかつてないほど心を痛み、深刻に受け止められたのではないのでしょうか。私も、この報道を耳にし、手を合わせて、御冥福を祈らずにはられませんでした。

事故後、「教育現場で、あってはならない事故が起きてしまった。」と伊達市の教育長さんが、会見で涙をこらえて述べられていました。事故の原因についての質問に対しては、「授業の合間に休憩もして、水分補給も十分した。しかし、暑さ指数に絞り込んだ対応が不十分であった。」と述べられています。

御存知と思いますが、暑さ指数は、簡単に言うと、気温と湿度と輻射熱の三つを取り入れた温度の指標で、平成18年から環境省が情報提供しておりますが、現場では、認識が薄く、必ずしも定着していないのではないのでしょうか。気温が1、湿度が7、輻射熱が2の割合があり、湿度が最も重要視され、湿度により汗が蒸発しにくく、熱中症になりやすいと言われていています。

この3年間、コロナ禍で子どもたちが運動など汗をかく体験が、過去にないレベルで不足をしています。特に低学年の児童にとっては、体験だけでなく、体の成長過程において、汗腺などの体温の調整機能の発達も懸念されると思います。

この各地の高温は、今年だけの異常気象であって欲しいと願っておりましたが、先日、国際連合は、「もはや地球温暖化は終わり、地球沸騰の時代に移行した。」と発表しました。「この先地球はどうなるのだろうか。対策は間に合うのか。」と不安に感じ、微力ながら自分ができることは何か、考えさせられるメッセージでした。

まず、自分の身を守るために、子どもたちはもちろん、高齢者や大人も、汗がかける体づくりが、この地球沸騰化の時代を生きていくためには、必要になってくるのかもしれない。

ゆっくりとした秋のスタートになりそうですが、夏の疲れが出てくる時期でもあります。新型コロナウイルスの新変異株のEG5が第9波に入っているそうです。まさかの夏のインフルエンザも大変懸念されております。

日々お忙しいと思いますが、皆様、お体、どうぞ御自愛ください。
御清聴ありがとうございました。

(2) 会議録署名委員の指名

数野教育長

会議録の署名委員は、原委員にお願いします。

(3) 前回会議録の承認

数野教育長

前回の議事録について、何か御意見ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは御承認をいただきました。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 議題

数野教育長

第22号 甲府市教育委員会私有車公務使用規定の一部を改正する規程について資料に基づき、風間学校教育課長から説明をお願いいたします。

(風間学校教育課長から資料に沿って説明)

數野教育長

説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

御意見、御質問等ありませんか。

原委員

よろしくお願いいたします。

家庭や学校を訪問する手段として私有車を利用するというので、迅速に対応していただきたいと思いますが、万が一の交通事故ということも想定しておかなければならないと思います。

19ページの7番の部分に記載がある、損害賠償責任保険の中の損害賠償金額について、対人が7,000万円以上と記載されていると思われませんが、間違いないでしょうか。

風間学校教育課長

はい。

原委員

私も含めて、皆さん、概ね無制限の保険に加入していると思われませんが、規程の中に書くのであれば、やはり無制限にしておくべきだと考えます。

また、物損に関しても、200万円以上との記載がありますが、これも無制限にしておくべきだと考えます。

人の命に値段を付けるのは心苦しいのですが、万が一のことを考えますと、賠償するときに、規程に記載のある賠償金額でも足りない方はたくさんいると思います。御本人が無制限に入っていれば問題ありませんが、規程と合致させたほうが良いと思います。

また、物損に関しても、例えばパソコンが壊れてしまった場合に、パソコン自体は大した金額ではないが、中のデータが大変高価なものだと判断される場合があり、その賠償の責任を負うという判例も出ております。

以上のことから、専門家の方に伺って、対応を考えていただきたいと思います。

風間学校教育課長

ありがとうございました。

今回改正した規程が今の時代に合っているのかということも確認する必要があると思いますので、原委員から御意見いただいた部分について、必要に応じて見直すことも考えていきたいと思っています。

數野教育長

まずは、「甲府市児童生徒支援センター すてっぷ」所属の職員が私有車を使えるような体制を整えていくこととなります。

また、原委員の御指摘の点については、今後検討するというのでよろしいでしょうか。

原委員

はい。

數野教育長

その他いかがでしょうか。

それでは、今、検討事項も一つございましたけれども、基本的にはこのような形で承認をしていただけるということで、よろしいでしょうか。

では、決定しました。

【原案のとおり決定】

(教育委員会決定)

(2) 報告

數野教育長

第11号 令和5年度教育委員会総合教育視察について
資料に基づき、風間学校教育課長から説明をお願いいたします。

(風間学校教育課長から資料に沿って説明)

數野教育長

説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

御意見、御質問等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

數野教育長

第12号 令和5年度全国学力・学習状況調査の甲府市における調査結果のポイントについて
資料に基づき風間学校教育課長から説明をお願いいたします。

(風間学校教育課長から資料に沿って説明)

數野教育長

説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

御意見、御質問等がありましたら、お願いいたします。

市川職務代理者

質問ではなく、意見が2点あります。

まず一つ目は、中学校の国語と英語に関しての調査結果を見ますと、自分の考えを書くことという点で課題が共通していると感じます。そのため、中学校の各教科の連携について考えていく必要があるのではないかと感じました。

それから、児童生徒質問紙調査の中で、例えば54ページから56ページまでを見ますと、主体的・対話的で深い学びに関して、先生方が授業改善に取り組んでいる様子が数字として表れていると感じます。全国との比較においても遜色のない結果を見ますと、甲府スタイルの授業を進めてきた成果であると考えられます。今後は、71ページにもある、子どもたちが主体的に自ら考えて発表できたかという部分で、良い結果が数字として表れることを期待したいと思います。

二つ目に、学校生活に関することについて、児童生徒質問紙調査の結果を見ますと、学校生活或いは学級の友達関係に非常に満足していると回答した子どもの割合が高いことが確認できます。

考えてみますと、学校生活全般に対する小学校での満足度が、中学校に進学したときの学力の向上に繋がっているのではないかと思います。一般的に、小学校の時に国語、算数等の教科が苦手であった子どもが、中学校に進学した後、苦手な部分が解消されることは考えづらいと思います。

ですが、充実した小学校生活を送ることで、中学校へ進学しても、先生や学校への信頼感に繋がりが、学力が向上していくのではないかと考えています。

ですので、今後も小学校、中学校でそういった努力を続けていただきたいと思います。

以上です。

風間学校教育課長

ありがとうございました。

書くことについては、昔からの課題であり、今回もそのことが結果に表れていると思います。子どもたちが自ら考えて書くことに苦手意識を持っていることも要因ですが、この問題がたくさんのページを見ながら、指示どおりに書いていかないと正解とならないという、かなり難しい問題であったと思います。

書くことの問題は、無回答率が少し高めになっているので、書く意欲を高められるような指導が、今後も必要になってくると思います。主体的・対話的で深い学び、甲府スタイルという部分もお話がありましたが、ICTも活用し、子ども間での対話や発表を行うことを充実させながら、さらにこの授業を改善していきたいと思います。

また、学校生活に関することについて、子どもたちが学校に楽しく行くということは大前提だと思いますので、小中学校でしっかり連携をしながら、子どもたちにとって良い環境を用意できるようにしていきたいと思います。

原委員

今年度改定した甲府市教育大綱においても、「一人一台端末等のICTを効果的に活用し、情報活用能力を育成する」と記載がありましたが、児童生徒質問紙調査の結果を見ると、既にICT機器の利用が浸透しており、学校現場においてICTに関わる指導が行き届いていると感じるこ

とができます。今後ともよろしくお願いします。

過去の教育委員会報告では、携帯電話やスマートフォンを日常生活でどのくらい使用しているかということと、それに関わる学力との相関関係についての資料を確認することができたのですが、昨年、今年とその資料を見ておりません。そのことについていかがでしょうか。

風間学校教育課長

児童生徒質問紙調査につきましては、数年ごとに質問内容のローテーションを行っております。そのため、数年後に、再度、携帯電話やスマートフォンについての質問が出て、以前との比較ということになると思いますので、学力についての比較もできると考えています。

今年度は、部活動の地域移行があったり、ICTの活用が広まっていることから、そのことに関わる質問が厚くなっていると思われるので、御理解いただければと思います。

末木委員

児童生徒質問紙調査について、意見が2点ございます。

一つ目は、65ページにある「将来の夢や目標をもっていますか」という質問について、小中学校ともに「当てはまる」と答えた割合が高く、良いことだと思います。

また、67ページにある「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどのくらいありますか」という質問で「よくある」と答えた割合が小中学校ともに高いので、このことも非常に良いことだと考えています。

ただ、将来の夢や目標についての質問で、小学校に比べて、中学校で「当てはまる」と回答した割合が若干低くなっていることも確認できます。

今、挙げた2つの質問については、甲府市学習指導要領の「生きる力」に関係があると思われます。子どものありのままの姿を認めて、一生懸命その夢や希望を支援する姿勢をまた引き続き学校現場で進めていただきたいと思います。

二つ目は、70ページの「読書は好きですか」或いは「学校の授業以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という質問に関わって、各学校でも読書が好きな子どもや家庭学習を行う子どもは、当然正答率も高いという相関関係が出ていますので、より一層、学校現場での読書の推進や学校外での勉強する機会、時間を多く確保できるような取組を進めていただきたいと思います。

よろしくお願いします。

風間学校教育課長

「将来の夢や目標をもっていますか」という質問についてですが、市内小中学校では、子どもたちに対するキャリア教育に力を入れており、自分がどういう仕事に適性があるのかということや、中学生であれば、中学校2年生時に職場体験を行っておりますので、将来の夢や目標ということにも繋がっていくのではないかと考えております。

それから「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどのくらいありますか」という質問については、もちろん学校生活が充実していることも重要ですが、各家庭での指導が行き届いており、お子さんが見守ってくれていると実感することが、幸せな気持ちになることに繋がっていくと思っておりますので、学校、家庭で連携をとりながら、子どもたちの健全育成に繋がっていきたく

考えています。

二つ目の質問の読書と家庭学習について、各学校で朝の読書の時間や、秋には読書週間というものを設定して、本に親しむような機会をつくっていくようにしております。

また、小中学校連携で家庭学習について取組を進めている学区もあります。

家庭学習、それから読書が学力に繋がるということはよく言われていることなので、今後も取組を進めていきたいと考えています。

數野教育長

その他何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

數野教育長

その他、何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

4 閉会

數野教育長

それではこれもちまして、9月定例教育委員会を閉会します。